

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2025年 7月 2日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
滋賀県近江八幡市上田町84-8

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
シマダヤ西日本株式会社
代表取締役 平野 亨

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、
事業者行動計画を策定 (変更)
事業者行動報告書を作成 したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	シマダヤ西日本株式会社 代表取締役 平野 亨
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	滋賀県近江八幡市上田町84-8

1 事業所の概要

事業所の名称	シマダヤ西日本株式会社 滋賀工場					
事業所の所在地	滋賀県近江八幡市上田町84-8					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	0	9	9	2	※ 産業分類・細分類名称を記載 めん類製造業
事業の概要	麺類の製造					
従業員の数	67	人	作業時間	20	時間/日	
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者				
主要な設備	ボイラ	4	台	熱源設備		台
	コンプレッサ	3	台	空気調和設備	47	台
				照明設備		台
				その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2022	年度	報告対象年度	2024	年度
	終了年度	2025	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

私たちは、地域に根ざした環境保全活動を通じて、CO₂ネットゼロ社会づくりに寄与していきます。資源、エネルギーの節約、有効利用に取り組みるとともに、廃棄物の削減、再資源化により環境への負荷の低減に努めます。

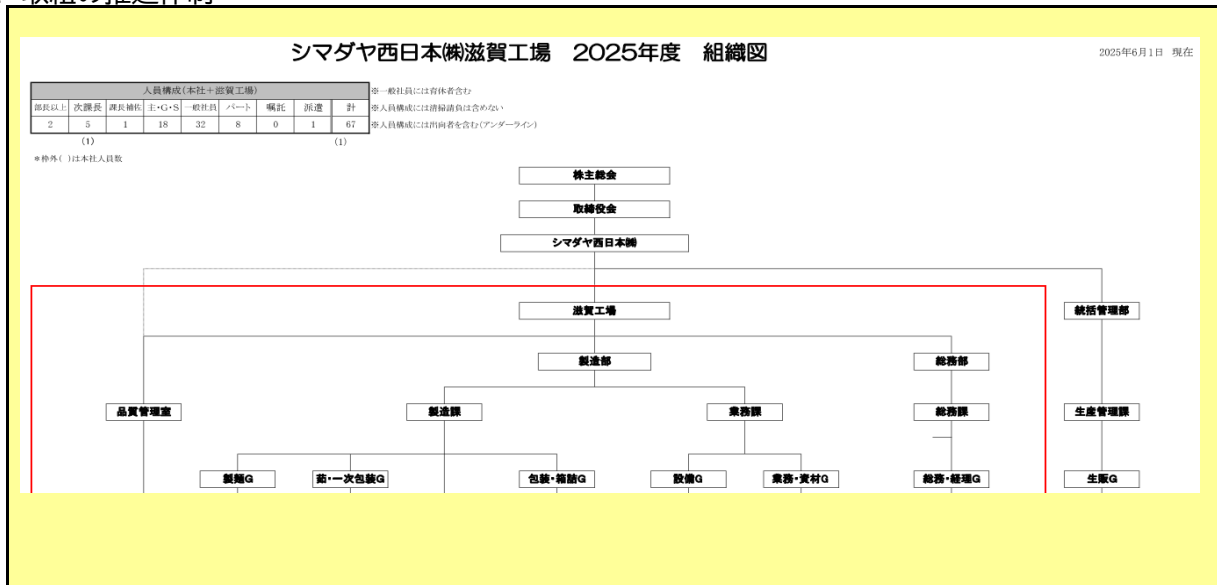
1. 事業活動を通じて、環境負荷を低減する仕事の仕組みをつくり、環境の保全と汚染の予防に取り組めます。

- ① 電気使用量の削減に努めます。
- ② 都市ガス使用量の削減に取り組めます。
- ③ 廃棄物の発生量の削減に取り組めます。

2. 事業活動を通じた環境保全活動を定期的に見直し、継続的な改善に努めます。

- 3. 環境保全に関連する法規制を遵守します。
- 4. この方針を維持するとともに、全従業員に周知徹底します。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

- 太陽光発電システム設置の検討
- 空調冷凍機の更新
- 排熱回収装置の更新
- 排熱回収装置の新規導入検討
- ヒートポンプ導入の検討
- 蒸気配管の修繕実施
- 空調機(CO₂冷媒)更新の検討

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	蒸気配管修繕工事	2022年~2024年	2024年度完了
2	設備導入	冷蔵庫空調機更新(CO2冷媒)	2023年~2027年	効果が見込めない為中止
3	設備導入	排熱回収装置の更新	2024年度	2024年度完了
4	設備導入	蒸気配管保温工事	2024年度	2024年度完了
5	設備導入	新センター遮熱工事	2025年度	計画実施中

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>上記の取組等により、計画開始年度前年度を基準として、以下の数値目標達成を目指します。</p> <p>「 温室効果ガス排出量 原単位 生産量 」 計画開始年度前年度2.5%削減</p> <p>原単位設定の考え方は以下の通り。 ・生産量の増減により、温室効果ガスの排出量は左右されるため、原単位の指標を生産量に設定する。</p>	<p>計画通りに実施できた内容もあるが、やむを得ず中止となった計画もある。生産数量が前年度比115%と増加したが、設備の更新や従業員の節電意識の高まりにより、エネルギーの使用量削減に努めることができた。計画開始年度前年度と比較し、原単位29%削減</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		(2022)年度	(2023)年度	(2024)年度	()年度	()年度	
原油換算エネルギー使用量	kL	1,686	1,534	1,488	1,460		
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	2,911	2,532	2,730	2,837		
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	2,911	2,532	2,730	2,837		
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	0	0	0	0		
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		0.853	0.638	0.679	0.614		

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	工場屋根への太陽光発電システム設置	2023年~2027年	会社事情により中止
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						